

第78期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第78期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
坂田 信一郎



事業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、好調な米国経済や資源価格の持ち直しを反映した世界経済の回復を背景に生産や輸出が伸長し、期後半から為替が円安に振れたこともあり、堅調な企業業績に支えられ、雇用環境も大幅に改善し緩やかな回復が続きました。

このような景況下、国内の新車総販売台数(軽を含む)は、前年比2.8%増の約507万台と3年ぶりの増加に転じました。その内、登録車は安全装備車や高燃費車の拡充効果により同7.5%増の約335万台と2年連続

で増加しましたが、軽自動車は前年比5.1%減の約171万台と3年連続のマイナスとなりました。

自動車ディーラー各社は、今後予想される国内新車市場の縮小に対応すべく、新規顧客の獲得と中古車やサービス部門等の拡充を通じて、既納客との関係強化に一層注力されています。

当社グループの国内部門では、幅広いユーザーニーズにお応えした新たな高付加価値商材をラインアップし、地域密着型営業の更なる強化を通じてシェア拡大を図りました。また、新規取引先の開拓に注力するとともに、異業種を含めた新しいビジネスモデルの構築にも取り組みました。

海外部門では、東南アジア・中東アフリカ市場において駐在員事務所を現地法人に格上げし、現地密着型営業体制を強化しながら、PB・OEM商材等の拡販にも注力いたしました。また、北米市場においては、新規販売チャネルでの販売増強を図りました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、当社の主力商品の1つであるCPCブランド商材の量産も順調に推移し、商材の改良・改善にも迅速に対応できる体制が確立いたしました。

これにより、当社グループの売上高は186億5百万円(前年比109.7%)、営業利益は30億77百万円(同124.8%)、経常利益は34億61百万円(同125.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益は23億95百万円(同128.1%)となり、増収増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間に持分法適用会社である石川トヨペット株式会社の株式を、グループ力の更なる強化のため追加取得いたしております。当期末の配当金につきましては、1株当たり19円とさせていただきます。

すでに中間配当金として1株当たり16円をお支払いいたしておりますので、通期の1株当たりの配当金は普通配当で前期比5円増配(創立70周年記念配当金3円を除く)の35円となりました。

今後のわが国経済は、米国新政権の通商政策の行方、海外の政治・経済情勢に加え、地政学上のリスクなど世界経済の不確実性と景気の先行きに対する不透明感が強まっているものの、グローバルな経済の回復を受け、個人消費はやや弱含みながら、生産・輸出とも底堅さを維持し、当面回復から、緩やかな拡大基調

も期待されます。

こうした状況下、当社グループは、本年6月の研究開発棟の完成、稼働を機にオリジナル商品の開発を一層充実させ、それを迅速に展開するためのピフォア、アフターサービス体制を強化し、新規取引先の開拓、新商品の開発、新しいビジネスモデル構築の3つの新規開拓に引き続き取り組みます。また、異業種市場への拡販のスピードアップを図るとともに、新情報システム定着によるコスト削減を更に徹底してまいります。

当社の将来を担う若手人材の育成と、早期戦力化を含めた教育研修体制に加え、現場での実践経験やあらゆる機会を通じた社員力アップを図り、新しい需要の創造を目標に社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長 坂田 信一郎

会社の概要

設立	昭和21年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 237名 当社の従業員数 226名

事業内容

当社／自動車用部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入
連結子会社／自動車用品製造販売ならびに自動車部品、用品販売および輸出入

国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(06)4803-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0821 広島市西区庚午北2-10-20 電話(082)507-7761(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒761-8031 高松市郷東町4-17 電話(087)881-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 103号室 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒815-0031 福岡市南区清水4-7-14 電話(092)554-3100(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒890-0052 鹿児島市上之園町19-17 ネオアクシス甲南101 電話(092)554-3100(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	東日本物流センター	〒349-1148 埼玉県加須市豊野台2-725-1 中越運送(株)埼玉ロジスティクセンター内 電話(0480)72-7110(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸PDセンター内 電話(078)990-0722(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)		
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市瑞穂区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

海外事業所

デトロイト(米国)／シンガポール／広州(中国)／ドバイ(UAE)／
ジャカルタ(インドネシア)／マニラ(フィリピン)／ヤンゴン(ミャンマー)

子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)
CAPCO PTE LTD(シンガポール)

株式の状況

(平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当事業年度末の株主数		3,191名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.86
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,019	5.63
日本精工株式会社	914	5.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	888	4.91
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.17
上野 万里子	685	3.79
TPR株式会社	663	3.67
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.26
株式会社みずほ銀行	531	2.94
株式会社椿本チエイン	500	2.76

(注) 持株比率は自己株式(1,931,145株)を控除して計算しております。

連結貸借対照表

資産の部	
科目	金額(千円)
流動資産	12,734,946
現金及び預金	8,051,931
受取手形及び売掛金	2,800,853
有価証券	1,001,548
商品及び製品	480,840
仕掛品	2,713
原材料及び貯蔵品	9,441
前渡金	11,688
繰延税金資産	253,968
その他	125,426
貸倒引当金	△ 3,464
固定資産	12,649,482
(有形固定資産)	(2,513,572)
建物及び構築物	705,250
機械装置及び運搬具	22,298
工具・器具及び備品	67,644
土地	1,610,279
建設仮勘定	108,100
(無形固定資産)	(550,111)
のれん	292,365
ソフトウェア	240,419
ソフトウェア仮勘定	818
その他	16,508
(投資その他の資産)	(9,585,799)
投資有価証券	8,940,586
その他	645,212
資産合計	25,384,429

負債の部	
科目	金額(千円)
流動負債	3,384,309
支払手形及び買掛金	1,755,362
未払法人税等	658,090
賞与引当金	267,077
その他	703,779
固定負債	1,362,974
繰延税金負債	153,654
退職給付に係る負債	1,120,486
長期預り保証金	27,264
未払役員退職金	61,568
負債合計	4,747,283

純資産の部	
科目	金額(千円)
株主資本	19,736,568
資本金	1,001,000
資本剰余金	4,184,339
利益剰余金	15,277,948
自己株式	△ 726,719
その他の包括利益累計額	900,577
その他有価証券評価差額金	1,010,181
繰延ヘッジ損益	894
退職給付に係る調整累計額	△ 110,498
純資産合計	20,637,146
負債純資産合計	25,384,429

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

科目	金額(千円)	
売上高		18,605,181
売上原価		11,058,041
売上総利益		7,547,139
販売費及び一般管理費		4,469,867
営業利益		3,077,272
営業外収益		420,457
受取利息及び配当金	51,679	
持分法による投資利益	256,504	
その他	112,273	
営業外費用		36,660
支払手数料	9,166	
その他	27,493	
経常利益		3,461,069
税金等調整前当期純利益		3,461,069
法人税、住民税及び事業税	1,099,847	
法人税等調整額	△ 33,988	1,065,858
当期純利益		2,395,210
親会社株主に帰属する当期純利益		2,395,210

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	1,001,000	4,184,339	13,533,947	△ 717,717	18,001,569
当期変動額					
剰余金の配当			△ 651,209		△ 651,209
親会社株主に帰属する当期純利益			2,395,210		2,395,210
自己株式の取得				△ 9,001	△ 9,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,744,001	△ 9,001	1,734,999
当期末残高	1,001,000	4,184,339	15,277,948	△ 726,719	19,736,568

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	562,130	1,224	△ 26,990	536,364	18,537,933
当期変動額					
剰余金の配当					△ 651,209
親会社株主に帰属する当期純利益					2,395,210
自己株式の取得					△ 9,001
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	448,051	△ 329	△ 83,508	364,212	364,212
当期変動額合計	448,051	△ 329	△ 83,508	364,212	2,099,212
当期末残高	1,010,181	894	△ 110,498	900,577	20,637,146

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

取締役と監査役 (平成29年6月27日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
代表取締役副社長	村井 尚
専務取締役	宮井 智史
専務取締役	藤井 俊和
常務取締役	鳥野 善文
取締役	阿部 啓
取締役	柿野 雅文
取締役	近藤 雅之
取締役	廣内 学
取締役	久保井 聡明
常勤監査役	石塚 一博
監査役	池田 正實
監査役	中山 正隆

(注) 取締役 久保井聡明氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 (注) 監査役 池田正實、中山正隆の両氏は、会社法第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレクショナルギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	無機防汚コーティング剤 アルコール検知器 カーナビ画面保護フィルム 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載し、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

《ご注意》

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

《ご案内》

- 1.平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けてください。
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

主な取扱商品

ボディコーティング

CPCプレミアムコーティング ダブルG / ダブルGベータ

- 自動車の塗装面に2重のガラス質被膜を形成。光沢、艶、膜厚感、持続性、汚れから守る効果等、全てを最高レベルで実現します。
- 付属のメンテナンスキットもアイテムを充実。お手入れも一段とラクになり、輝きや光沢を一層際立たせ、その美しさを長期間守ります。



※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。

ガラスコーティング ガードコスメ / ガードコスメSP

- ガラス質被膜と、フッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、両方のメリットを併せ持ちます。
- 高級感のある輝きや光沢を実現し、優れた汚れ落ち効果で普段お手入れもラクにします。
- 有効成分の含有率を高めたハイグレード・ハイブリッドボディコーティングです。



※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。

CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

- CPCは国内での販売実績が25年以上。愛車の輝きを守りながら、お手入れをラクにするボディコーティングの定番です
- そのノウハウをベースに生まれたガラス系・フッ素系のハイブリッドコーティングが、CPCガラスコート、CPCガラスコートSPです。



メタルトリートメント

MT-10スーペリア / MT-10エフィ

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エフィは、低油温状態のエンジンの摩擦抵抗も低減。ハイブリッド車やアイドリングストップ車にも最適です。



安全運転のため360°視界スッキリ

SKATO360 (スカット・サンロクマル)

- 雨の日の視界を良好にして、ドライバーや歩行者の安全のお役に立つウインドウガラス撥水コーティングです。
- 優れた撥水効果と長期間の持続性を持ち、フロントガラスだけでなく、サイドリアガラスにも施工でき、360°良好な視界を確保します。



※比較画像は水道水をホースで散水し、人工的に雨をイメージさせたものです。

※日刊自動車新聞用品大賞2009「ケミカル部門賞」受賞。

EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



※未施工ガラス面の水接触角



※施工済ガラス面の水接触角

soCIAC アルコール検知器 “ソシアック”シリーズ

- 多数の官公庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。
- 測定履歴が保管できるタイプや、アルコール検知器の故障の有無を確認できる「テスターキット」も含め、プロドライバーにシリーズとして選ばれています。



売上代金の一部を公益財団法人交通違反等育成基金へ継続して寄付させて頂いております。



※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「セーフティ部門賞」、同2011「セーフティ部門賞」受賞。

Japan-Central Automotive Approved



プライベートブランド “J.C.A.P.”シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



海外拠点を拡充・活用しながらグローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へと、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。



当社は「環境、健康、安全」をテーマにした企業理念を遂行するため、
国際規格 ISO9001、ISO14001の認証を取得しております。



FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO14001
本社 国内支社・営業所



CENTRAL 中央自動車工業株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 4丁目2番30号
電話(06)6443-5182(代表) FAX(06)6443-6654
<http://www.central-auto.co.jp>

証券コード 8117